

雑木蝶



さん ぐう
三宮 ゆきお

三宮ゆきお後援会

討議資料

北本市西高尾 1-259 TEL・fax 048-592-1376

Mail sangu@salsa.ocn.ne.jp

明光義塾「本庄早稲田教室」館前オーナー

NPO 法人「荒川わらの会」前理事長

趣味 史跡巡り 読書 司馬遼太郎ファン

新潟県柏崎市西山町生 (田中角栄元総理と同郷)

法政大学大学院 社会科学研究所政治学修了

北本市立北小・南小助教諭教諭 北本市史編さん室長

平成23年4月 北本市長選 14078票 (次点)

平成27~29年度 北本市議会議員

危機感の無いところに知恵は生まれない!

人口は、このまちの尺度であり活力です。第五次「北本市総合振興計画」では、10年後の人口を58,000人、市税収入は20億減の約70億円と試算しています。2025年(団塊の世代が75歳以上の後期高齢者に入る年)は、超高齢化社会を迎えます。逆に、子どもと若者が極端に減って行きます。それに連動して市税収入も減り、財政の硬直化が一段と進みます。「入るを量(はか)って出ざるを制する」しか道はありません。

展望のない巨大100億円

公共事業! (試算三宮)

久保区画整理事業は、2,000人の新規人口を想定していますから、単純に試算すれば、500万円かけて1人増やす計算となります。また、市施行の事業ですから私たちが納めた税金が使われています。他人事ではありません。

- ・人口減少
- ・財政悪化
- ・継続100億事業 久保区画整理事業
- ・新規100億100年事業 西仲通り線

オンリーワンのまち! (政策戦略的なまち)

政策は、総花的な単なる思い付きや美辞麗句のスローガンではなく、十分に考え抜かれた、本当に実行可能なものを提言するものです。私たちは、このまちの強みと弱みを洗い出し解析する「SWOT分析」手法を取り入れ、政策をより戦略的に考えました。今回の分析で、統計上の比較数値では測れない、様々な強みがあることが分かりました。一方、人口減少に代表される弱みは、先送りせず、すぐに対策を打ち、最悪の事態(消滅可能性都市)を回避しなければならないことも分かりました。

 <p>SWOT分析</p> <p>(内部要因) ■Strengths=強み ■Weaknesses=弱み</p> <p>(外部要因) ■Opportunities=機会 ■Threats=脅威</p>	<p>(S) 北本の強み</p> <p>S1 多様な人財・活発な市民活動</p> <p>S2 大宮台地の最高点であり、水害に強い</p> <p>S3 観察公園・中央緑地・トラスト地の存在</p> <p>S4 国史級「デーノタメ遺跡」の存在</p> <p>S5 鎌倉街道や石戸城、日本五大桜の存在</p> <p>S6 圏央道・上尾道路による交通・交流拠点</p> <p>S7 北里メディカルセンター病院の存在</p> <p>S8 B級グルメ日本一の北本トマトカレー</p> <p>S9 子ども図書館・児童館の存在</p>	<p>(W) 北本の弱み</p> <p>w1 深刻な人口減少・少子高齢化</p> <p>w2 展望のない大型公共事業</p> <p>w3 公共施設の老朽化に伴う維持管理費</p> <p>w4 法人市民税の急激な低下</p> <p>w5 働く場所が少ない</p> <p>w6 行政ガバナンスの不足に伴う職員モラルの低下</p> <p>w7 行政と市民との対話の減少</p> <p>w8 不登校、引きこもり、心の病の人増加</p> <p>w9 スポーツ・文化人口の減少</p>
<p>(O) 機会 (チャンス)</p> <p>O1 ICT、AI技術の進歩</p> <p>O2 圏央道・上尾道路の整備</p> <p>O3 自然・健康志向の高まり</p> <p>O4 東京五輪・観光の広がり</p> <p>O5 協働意識の高まり</p> <p>O6 講座・研修機運の高まり</p>	<p>(積極的攻勢) 強みを武器に機会を活かす</p> <p>政策A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT、AI技術の積極的利活用 (S1・O1) ・首都近郊「癒しのまち」のブランド化 (S3・O3・O4) ・圏央道、上尾道路沿線の調査・検討 (S6・O2) ・デーノタメ遺跡の国史跡整備 (S4・O4) ・一万歩運動と史跡巡りのコラボ (S3・S5・O3) 	<p>(弱点強化) 機会を失わないような対策</p> <p>政策B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT、AI技術産業誘致アプローチ (w4・w5・O1) ・職員によるまちづくり提案制度復活 (w6・O6) ・市民との対話による協働のまち (w7・O5) ・森林セラピーロードや福祉サロンの検討 (w8・O3) ・東京五輪事前キャンプ誘致とスポーツ・文化交流 (w9・O4)
<p>(T) 脅威 (ピンチ)</p> <p>T1 人口減少・少子高齢化の加速</p> <p>T2 国の財政危機の増進</p> <p>T3 首都圏直下型地震の可能性</p> <p>T4 農地の遊休化の更なる進展</p> <p>T5 東京一極集中</p> <p>T6 子どもの活字読書離れ</p>	<p>(差別化戦略) 強みを活かし脅威に対抗</p> <p>政策D</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちアピール (S2・S7・T3) ・災害拠点病院アピール (S7・T1・T3・T5) ・防災専門家の養成・マニュアル作成 (S2・S7・T3) ・グリコや民間トマト工場との提携・誘致 (S8・T4) ・子どもの本のまちづくりへの支援 (S9・T6) 	<p>(問題回避) 最悪の事態を回避</p> <p>政策C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人口減少」対策プロジェクト推進 (w1・T1) ・子どもの未来づくりへの投資 (w1・T1・T6) ・地域包括ケアシステム体制支援 (w1・T1) ・公共事業の凍結見直し (w2~w4・T1・T2) ・公共施設の長寿命化 (w3・T1・T2)

発想の転換を!

今ある**資産や知識**を大切に**未来につなぐ**まち



「人口減少」財政危機宣言!

人口減少と少子高齢化、財政危機に対応するため「財政危機宣言」をして、専門家を交えたプロジェクトチームを設置すべきです。北本版「財政基本(健全化)条例」(仮称)を制定し、展望のないハコモノ行政をストップすべきです。

子育て支援、産業振興予算への未来投資にシフトすべき!

「子どものまち」子どもの未来への投資!

子どもは、まちの未来です。子どもの未来づくりへの投資を急ぐべきと考えます。

まずは、雑木林保育、子ども食堂(子どもの貧困含)、子ども文庫等の民間活動の支援です。次に、子どもの本のまちの本格的な検討です。

子どもの減少というこのまちの最大のピンチをチャンスと捉える発想を持て!



「癒しのまち」雑木林のあるまち!

北本版「美の条例」(景観条例)を制定し、雑木林や谷津の魅力と地域の芸術・文化とコラボした「癒しのまち」づくりを進めるべきです。「里山資本主義」の著者、藻谷氏をして首都圏近郊の「軽井沢」と言わしめた雑木林や谷津(トンボや蝶、ホタルが舞い、カタクリの咲く)のあるまちは、大変な魅力・武器です。**全国に強かにアピールすべき、アピールが足りない!**



「縄文のまち」を観光の目玉に!

関東の三内丸山遺跡「デーノタメ遺跡」を国の史跡として保全し、観光と教育の目玉(縄文サミットや縄文祭りの開催)とすべきです。教科書会社等と協議し、その掲載の実現に努力し、「縄文のまち」を世界に発信し、他市との差別化・ブランド化をはかるべきです。**全国の縄文のファン、特に女性「歴史女」をターゲットにしたしかけづくりをすべき!**

※文化庁調査官をして「全国には、年間8千件の発掘の報告があるが、この10年間、8万件の遺跡の中で、いまだこれをしのぐ遺跡はない」と言わしめた遺跡です。市長は、西仲通り線が優先すると記録保存の発言!

「交通の要のまち」沿線地域の開発!

南部地域のまちづくりは、このまちのまちづくりであり、生長点です。北本市は、圏央道の開通により、関東の中心「交通の要(ハソ)のまち」に躍り出ました。この魅力を武器に、南部地域はもとより、圏央道、上尾道路沿線のあらゆる可能性の調査、検討をします。市長直属の推進室を設置し、広域・長期的な視点から民間活力を導入したまちづくりを進めます。

このまちが、冷え切る前に知恵を出せ!



「健康・スポーツのまち」東京五輪事前キャンプ地に!

2020年の東京五輪の事前キャンプの誘致を含めた「スポーツのまち」宣言です。誘致の決め手は、スポーツ施設と宿泊施設の確保です。体育センターがあり、駅前ホテル(85室)も完成しました。また、17号沿いの天然温泉付きホテル(約105室)もオリンピック前の4月にオープン予定です。

昨年、市には「卓球」の事前キャンプ地の打診があったようですが、予算の都合(基準に合った卓球台購入)等で断ったとのこと。スポーツを通じた国際文化交流で、まちの活気を取り戻す千載一遇のチャンスを逃しました。

市長は、ホテルのオープンだけで満足だったのでしょうか。浮かれている場合ではありません。

危機感を持って知恵をだせ、議会に諮らず断るな!

「福祉ワンストップのまち」相談窓口の設置!

福祉ワンストップ総合相談窓口を設置し、妊娠、出産から子育てまで家族を支援します。また、かかりつけ医院、薬局などと連携し、独居高齢者の見守り体制を充実します。

今すぐ、福祉基金を復活しスピーティに対応せよ!

「安心のまち」大宮台地の標高最高点!

首都圏直下型地震の可能性が高まっています。北本市は、大宮台地の標高最高点にあり、地震や水害に強いまちです。災害拠点病院に指定されている「北里メディカルセンター病院」と併せ、安心のまちを強かにアピールすべきです。北本への移住・定住促進の大宣伝です。

「安心のまち」として他市との差別化をはかれ!

- 北本トマトカレーの更なるブランド化、グリコや民間トマト工場との連携・工場誘致活動
- ICT・AI技術産業への積極的なアプローチ、AIの一般家庭(福祉・教育面)への普及支援
- 健康長寿(一万歩運動)と史跡巡りをコラボ、歩いて楽しむ「回遊性」のあるまち
- 久保特定土地区画整理事業は、地権者によりぞった見直しを検討 etc